

シーフード料理コンクールの審査員として



料理特別師範 宮田克代

今年はコロナ禍で学校がお休みになったり、不便な生活スタイルを強いられたり、皆様一人一人がストレスを抱えることとなったと思います。

そんな中で、今回のコンクールは500作品以上の応募があり、例年にも増して多くの方にご参加いただき審査員として大変うれしく思います。

書類審査にあたっては多くのすばらしい作品があり、選考に迷うところもありましたが、味、栄養面、アイデア、工夫など選考基準に従い入選作品を決定しました。実技審査も同様に、盛り付けや味はもちろんのこと普及性なども厳正に審査し各賞を決定しました。

料理は毎日の生活の活力源です。しかしながら、毎日三食を考えるととなると結構大変なものです。このコンクールで入賞した作品を参考にいただき、目先を変え、より楽しく食べられるよう、ちょっとした工夫やアイデア取り入れ、お魚料理をする輪が広がれば幸いです。

皆様がよりお魚好きになり、お魚料理をたくさん召し上がって下さることを切に願っています。